



旧大井村役場 2階の旧議場(正面は議員用机と奉安殿)

平成17年10月1日に、上福岡市と大井町が合併してふじみ野市は誕生しました。上福岡市と大井町は、明治22年に成立した福岡村と大井村をルーツにしています。2つの村の村役場が、文化財としてふじみ野市内で保存されています。

大井村役場は、昭和12年に現在の大井小学校の敷地内、川越街道に面した場所に建てられました。木造モルタル2階建ての建物は、当時「ハイカラ」と呼ばれ、洋風なデザインと和風な装いを見事に一体化した姿を今に伝えています。昭和46年まで役場庁舎として使用され、平成14年に国の登録有形文化財になりました。

福岡村役場は、福岡小学校の東、現在の上福岡歴史民俗資料館の場所にあり、現在は解体されて建物の部材が保管されています。この役場の建物は、市内で初めて近代教育が行われた三福学校の校舎(明治15年建築)を再利用したものでした。三福学校校舎は木造平屋・かやぶき屋根の建物で、最初は新河岸川の近くに建てられました。生徒数の増加や洪水の被害などが原因で、大正7年に現在の福岡小学校の土地に新校舎を建てて移転しました。福岡村は旧校舎を移転し、役場庁舎として使用を始めました。昭和47年まで町役場庁舎として使用され、昭和52年に市指定文化財「元三福学校校舎」になりました。

日本全国に言えることですが、古い役場の建物はほとんどの場合、その役割が終わったときに取り壊されています。市のルーツにあたる村役場の建物が、成り立ちも残され方も異なっていますが、現在も残されていることは非常に珍しい事例です。10月の旧大井村役場特別公開では、そのような歴史的な価値を実感してください。

- 所在地
旧大井村役場 苗間34-6
※旧福岡村役場は部材として
保管中なので見学できません。

- アクセス
ふじみ野駅西口徒歩15分
東武バス
上苗間バス下車 徒歩2分

